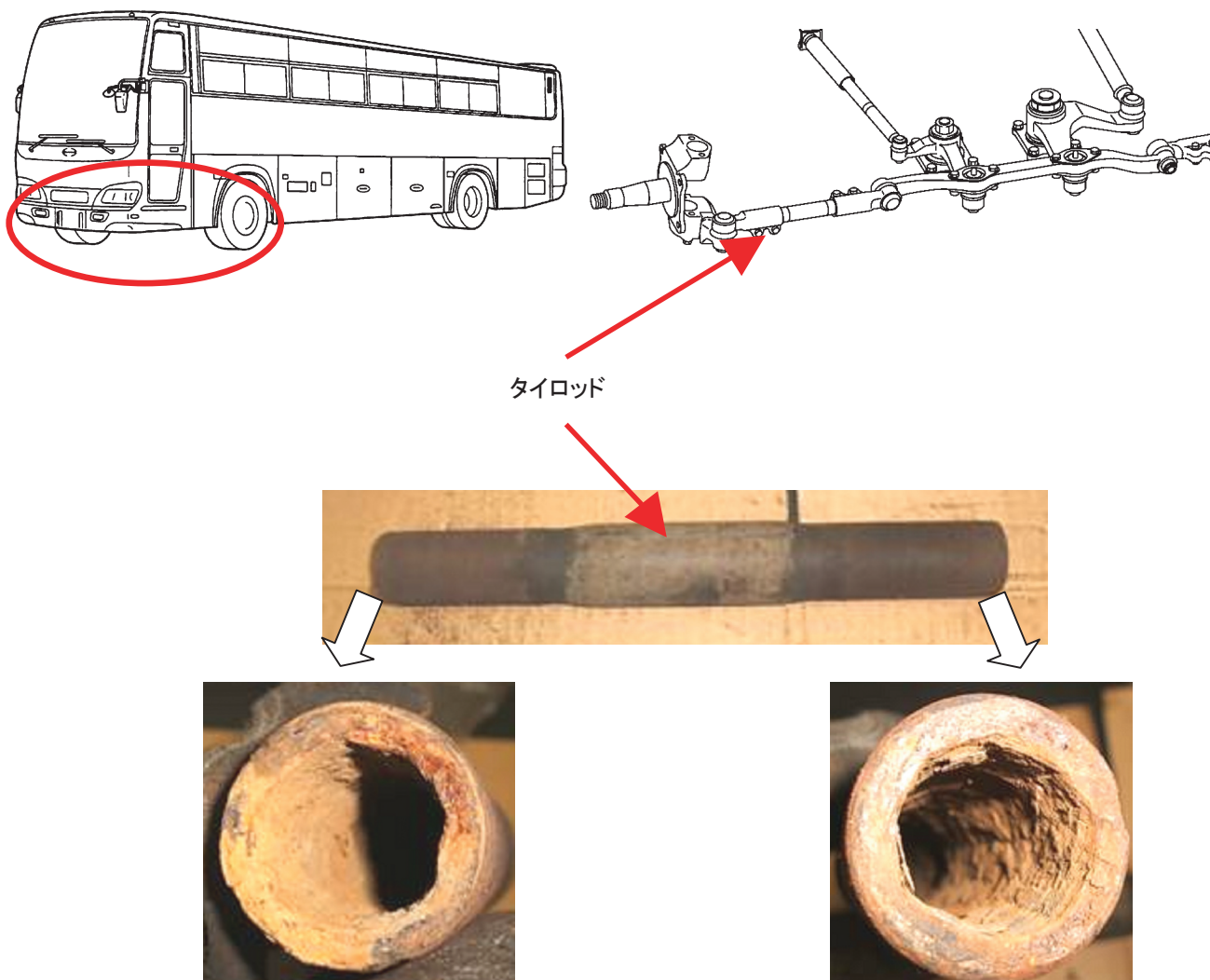




テクニカル・メッセージ

長期間使用バスの足まわりのメンテナンスについて

日野自動車のバスの10年経過した車両で、フロントサスペンション及びタイロッドの腐食損傷に起因する不具合の発生事例がありましたので、点検・整備(交換)をより確実に実施して頂くために、それらの点検方法及び整備(交換)時の注意点をまとめましたのでご連絡致します。テクニカルメッセージNo.20041220「日野バス床下部品の新予防点検・補修要領」も併せてご覧下さい。



【対象車両】

バス全車。特に10年経過車及び融雪塩散布地域で稼動する車両。

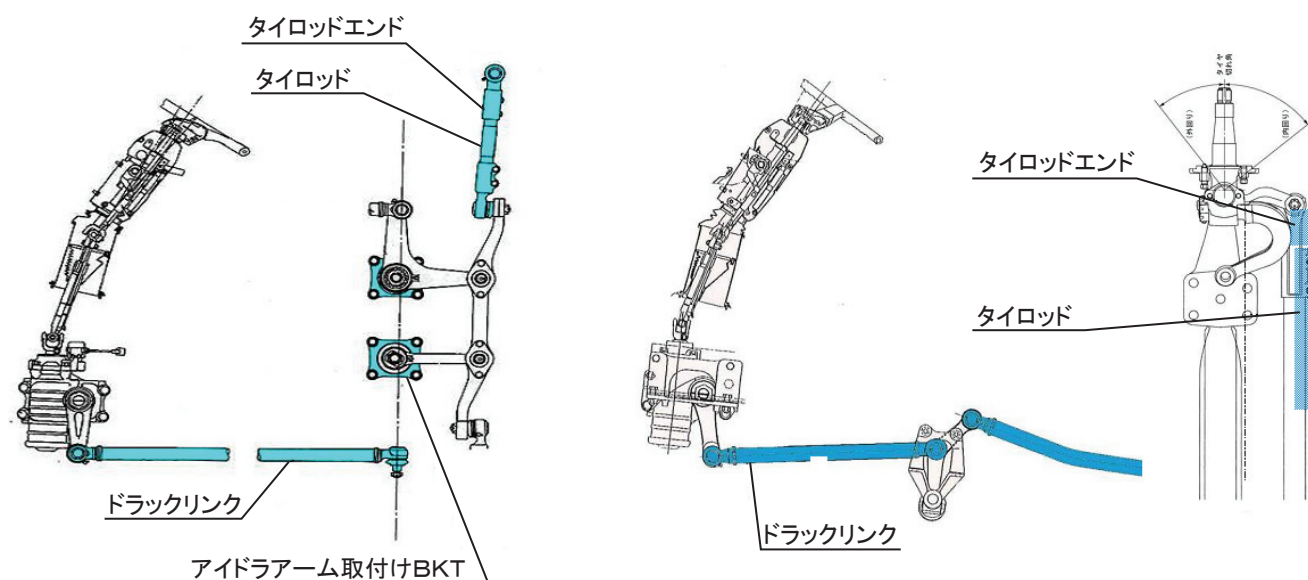
日野自動車

【定期点検・交換基準】

● 3ヶ月毎及び12ヶ月毎の定期点検

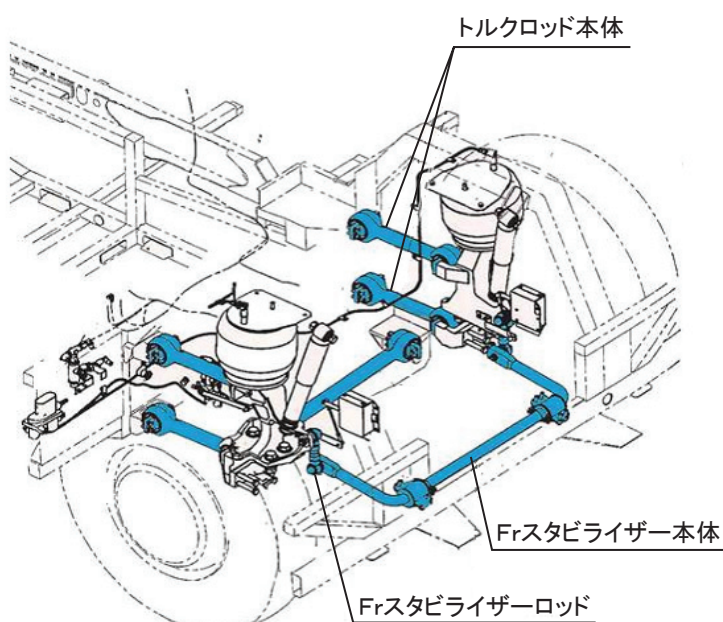
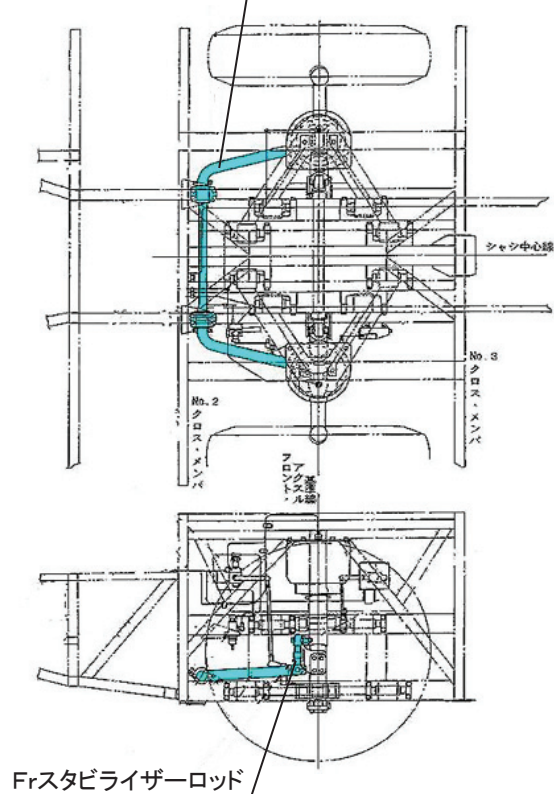
- ① タイロッド及びアーム類の緩み、ガタ、損傷。
- ② 各部品に前ページ写真の様な侵食錆、やつれ、塗装剥がれ等がある場合は交換願います。
(整備詳細については整備解説書をご覧ください)
- ③ 点検部位(下記)

ステアリング廻り : 大型観光バス、大中小型路線バスの例

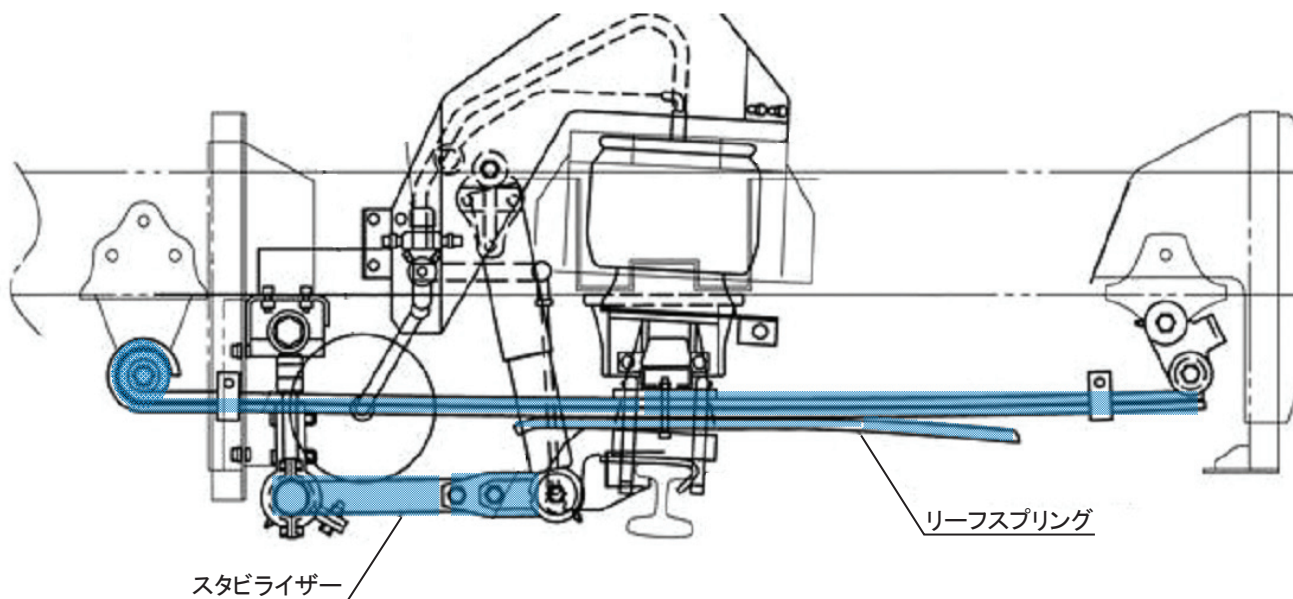


フロントサスペンション廻り : 大型観光バス、大型路線バスの例

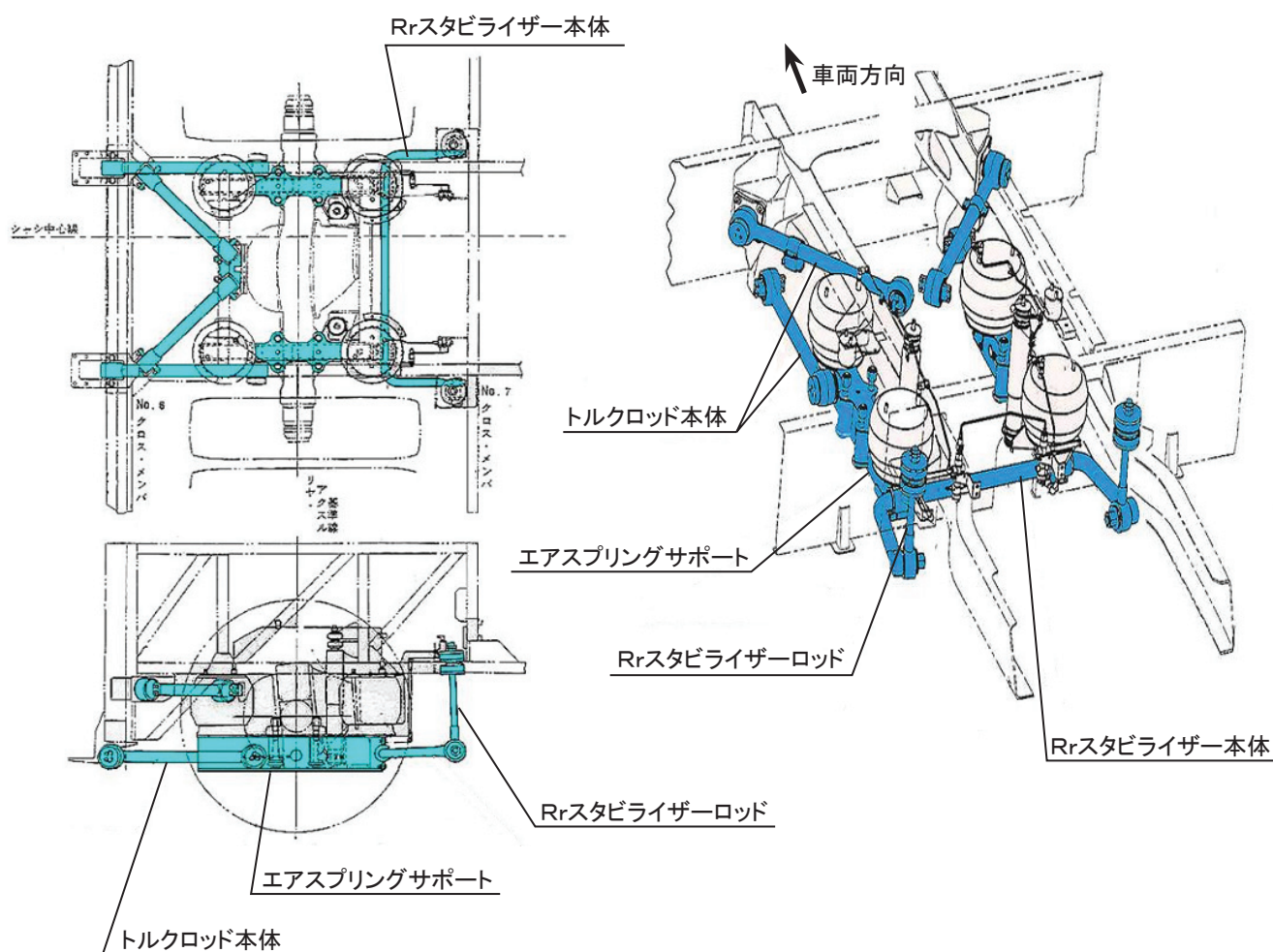
Frスタビライザー本体



フロントサスペンション廻り： 中小型バスの例



リアサスペンション廻り： 大型観光バス、大型路線バスの例



【防錆のための定期的なメンテナンスについて】

融雪剤の散布量の増加による錆環境の悪化から、定期的なメンテナンスをお願い致します。

	メンテナンス作業	部 位	点検期間					
			3ヶ月	6ヶ月	1年	2年	5年	10年
1	洗車	●ボデー全体 ●シャシ全体	厳寒時を除き、運行後毎日実施					
2	可動部、摺動部は定期的に開閉し、グリスを塗布する	●ドア及びドアヒンジ、ドアロック ●蓋のヒンジ及びロック	○					
3	水や泥を除去後、錆発生部の錆はワイヤーブラシなどで落とし、防錆塗装または防錆ワックスを塗布する	●タイヤ周辺のフレーム、クロスメンバー ●床根太、床板 ●側外板 ●スカート柱とタイロッド ●フロントステップ廻り ●燃料タンク ●エアタンク ●パイプ類(PS、ブレーキ)		○～○				
4	床下全面に防錆塗装を施工	●シャシ全体 床下面の骨格、フレーム、外板内面、バゲージ下面等			○			
5	10年経過車両は床下、足回りのリフレッシュを推奨します 足廻りでタイヤスプラッシュの直撃を受ける部品をリフレッシュ 水や泥が内部に溜まり易い部品をリフレッシュ 錆によるヤツレがある部品を交換	●走行装置 ●Frサスペンション廻り ●Rrサスペンション廻り ●パイプ類 ●制動装置						◎